

2024年9月10日

報道各位

ニューホライズンキャピタル株式会社

株式会社カントビへの投資実行について

ニューホライズンキャピタル株式会社（本社 東京都港区、代表取締役 安東 泰志）が運営するニューホライズン4号投資事業有限責任組合（以下総称して「弊社」）は、8月9日付で株式会社カントビ（本社：静岡県静岡市清水区、代表取締役 佐藤広恭、以下「カントビ」）への投資を実行いたしましたのでお知らせします。

カントビは1970年の創業から約54年に亘って、建設・土木工事用の仮設足場工事・仮設資材リース業を営んで参りました。2002年に現社長である佐藤広恭氏が代表取締役に就任した以降も、若手従業員の採用・育成や最新の吊り下げ式足場技術の導入などに注力し、橋梁などの高度な足場工事を安全かつ高品質で施工する業界プレイヤーとして、業容を拡大し、同業界での確固たる地位を確立しました。

建設業界における人材不足は年々深刻化しており、効率化と安全対策の向上による作業環境の改善が重要視されています。カントビの取扱う仮設足場工事は、工事現場での高所作業のスペース・安全確保を担う、様々な工事を施工するために必要不可欠な重要性の高い工事であり、カントビはまさに工事現場の安全を足元から支えている会社であります。カントビは、通常の足場だけではなく、橋梁や高架の工事に用いられる吊り下げ型の足場の「クイックデッキ」を取り扱うなど、より高単価・高付加価値の足場工事を提供しています。建設業界全体の課題である人材不足に対しても、従前から自社採用の強化により業界水準を大きく上回る採用・定着率を達成しております。これに加えて、業績面でも高収益体質を堅持している非常に優良な企業です。今般、カントビを中長期的に成長させるためのパートナーとして弊社を選定頂きました。このような優良企業の事業をファンドが中継ぎをして次世代に承継していくことは、弊社が掲げる「意義ある投資」に沿うものであると判断し今回の投資に至りました。

なお、新組織体制としては、代表取締役は佐藤広恭氏が当面続投し、後継社長候補への引継を進めてまいります。また、弊社から新たに取締役及び監査役を数名派遣しております。

以上

ニューホライズンキャピタル株式会社について

2002年2月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から、2006年10月の会社分割を経て、通算20年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額2,700億円超）を誇る。現在は、NHCとして6本目、創業から10本目のファンドを運営中。2002年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとするNHCのチームメンバーは、フェニックス・キャピタルにおいて、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ等、また、ニューホライズン1号から4号ファンドにおいても多数の投資を実行し、ハウステック、シバウラ防災製作所、昭和コーポレーション、NITTO/平世美装等、開示可能なエクイティー投資先だけで約50社、全体では100社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先（弊社広報担当）：

インターナショナル・ファイナンシャル・コンサルティング株式会社

竹江、高杉 連絡先：03-5532-8921